

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公開番号】特開2002-92058(P2002-92058A)

【公開日】平成14年3月29日(2002.3.29)

【出願番号】特願2000-282588(P2000-282588)

【国際特許分類】

G 06 F 17/50 (2006.01)

G 06 F 17/10 (2006.01)

H 05 K 3/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/50 6 5 8 A

G 06 F 17/50 6 5 8 C

G 06 F 17/50 6 5 8 V

G 06 F 17/10 Z

H 05 K 3/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月14日(2007.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】プリント基板に配置されている部品に対してEMCを考慮した最適な配置がなされているか否かを計算する、プリント基板における部品の配置の計算装置において、

プリント基板上に配置される部品に対して、部品の信号端子が持つ電気特性であるスルーレートの計算を行う第1の計算手段と、

前記第1の計算手段により計算されたスルーレートと、

部品の電源/GND端子と基準部品の端子との距離とに基づいて、該部品の電源/GNDパターンに応じた推奨距離を計算する第2の計算手段と、

前記第2の計算手段により計算された推奨距離と、

部品の電源/GND端子と基準部品の端子との距離とに基づいて、推奨距離と部品が配置された距離との適合割合を計算する第3の計算手段と

を有するプリント基板における部品の配置の計算方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、本発明のうち請求項3に記載の発明は、プリント基板に配置されている部品に対してEMCを考慮した最適な配置がなされているか否かを計算する、プリント基板における部品の配置の計算装置において、プリント基板上に配置される部品に対して、部品の信号端子が持つ電気特性であるスルーレートの計算を行う第1の計算手段と、上記第1の計算手段により計算されたスルーレートと、部品の電源/GND端子と基準部品の端子との距離とに基づいて、該部品の電源/GNDパターンに応じた推奨距離を計算する第2の計算手段と、上記第2の計算手段により計算された推奨距離と、部品の電源/GND端子と

基準部品の端子との距離とに基づいて、推奨距離と部品が配置された距離との適合割合を計算する第3の計算手段とを有するようにしたものである。